

ヒューマンサポートロボット (HSR)

～物を運んだり、屋内設備を操作することによる生活支援～

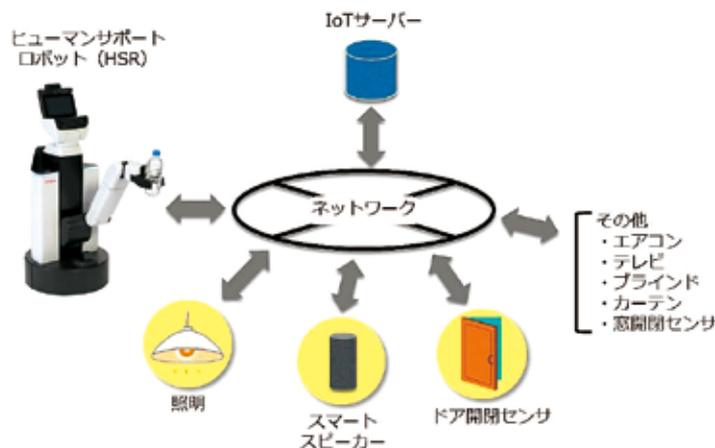
● 藤田医科大学 教授 才藤栄一 ● トヨタ自動車株式会社 菅 敬介

成果概要

現在の超高齢化社会において、高齢者夫婦の世帯や高齢者独居世帯の増加が続いているが、介護や支援のリソースは限られており、なるべく自身で日常生活を営むことが必要となっている。ヒューマンサポートロボット(HSR)は、居宅や介護施設において、このような高齢者の支援をすることを目指して開発をしている。本プロジェクトでは、HSRを実際の高齢者に体験いただき、居宅シーンを想定して、現状のHSRを評価してもらいながら、今後実現してほしい機能について調査を実施した。

実証試験の結果

- 実証で高齢者の方に体験していただき、機能に関して多くの要望が得られた。(例えば、音声認識の精度向上や、コミュニケーションにおける積極的な意思表示など)
- 移動スピードの遅さを懸念していたが、屋内ではゆっくり動くことが高齢者の安心感につながっている。
- 単なるIoT機器のインターフェースとしてだけではなく、コミュニケーションできる機器として期待される声も多い。



今後の展開

技術的な観点では、実証で非常に多くの機能の要望が寄せられたが、最新の技術を集めても実現が難しいものも多く、更なる要素技術の開発が必要となる。また、使いやすさの観点において、実証ではロボットに音声で指示することですら苦勞されている場面が多くあった。今後、より直感的で自然なインターフェースの開発が必要である。

- お問い合わせ先：トヨタ自動車株式会社 BR-メディケアロボット室 宮川 透
e-mail : toru_miyagawa@mail.toyota.co.jp 電話番号：0565-98-6493 FAX：0565-98-6462
- 特許の有無：無